

平成29年度病害虫発生予察注意報第5号

平成29年9月1日
愛知 県

作物名：キャベツ
病害虫名：シロイチモジヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠
長久手市、豊橋市及び田原市のキャベツほ場に設置したフェロモントラップにおける7月第2半旬から8月第5半旬の総誘殺数が、過去9年の総誘殺数と比較して最も多い。
- 4 形態及び発生生態
成虫は暗灰褐色、体長約12mmの小型の蛾で、前翅の中央部に黄褐色の円形斑紋がある(図1)。卵は黄褐色、約0.5mmのまんじゅう型、卵塊で産卵され、表面は灰褐色の毛で覆われる。幼虫の体色は多様で、緑色から黒紺色まで個体差が大きい。老齢幼虫になると、腹部の側面の線が白く明瞭になり、気門線の腹縁部が桃色を呈し、体長約30mmとなる(図2)。
ふ化後しばらくは集団で生息し、齢が進むにつれて次第に分散する。成虫は4月から11月頃に、年4～5回発生する。非常に広食性で、キャベツのほか、ハクサイ、ダイコン、ネギ、ホウレンソウなど、50種以上の野菜類や花き類におよぶ。
- 5 防除対策
 - (1) 幼虫の寄生を確認したら、表を参考に速やかに防除する。
 - (2) 薬剤感受性が低下しないように、同一IRACコードの農薬を連用しない。



図1 成虫



図2 老齢幼虫

表 シロイチモジヨトウに対する主な防除薬剤

農薬の名称	使用時期	希釈倍数	使用回数	系統	IRACコード
コテツフロアブル	収穫前日まで	2000倍	2回以内	ピロール	13
ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し、 収穫前日まで	1000倍	—	BT	11(A)
デルフィン顆粒水和剤	発生初期但し、 収穫前日まで	1000倍	—	BT	11(A)

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。
IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism_irac.pdfを参照する。
薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

- 6 連絡先
農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471